

JCDキャロット(広島工業大学)

◎チーム紹介と活動内容

「JCDキャロット」は、広島工業大学の22名からなるチームです。

活動内容は、子どもたちに理科を楽しんでもらえるような実験をします。私たちは、理工系大学生として少しでも子どもたちに理科に興味を持ってもらいたいと思い、活動をしています。

皆さん、放課後子ども教室で実験を楽しみましょう。

◎活動の様子

活動教室：熊野町土曜くまのっこ教室

日時：平成23年11月19日(土) 10:10~11:40

場所：熊野町民会館

参加人数：11名(大学生ボランティア) , 9名(子ども)



今回の実験内容は、「片栗粉」と「水」を混ぜると起こる「ダイラタンシー現象」を用いたものでした。ダイラタンシー現象とは、粉と液体を混ぜ、外から力を加えると液体の状態から固体に変化する現象です。

子どもたちは、「ダイラタンシー現象」を実際に見て大変驚いた様子でした。



子どもたちは、3種類の粉(片栗粉・白玉粉・小麦粉)を実際に触ったり、匂ったり、水を加えたりしながら、「ダイラタンシー現象」が起こるかどうかを確かめました。また、片栗粉にどのぐらい水を加えるとこの現象が起こるかも実際に確かめました。最後に、この現象が起こる仕組みをわかりやすく大学生が説明してくれました。

○学生の皆さんからの声(インタビュー、アンケートより)

活動当日、初めは緊張していましたが、子どもたちが元気なので自分自身も楽しむことができました。また、子どもたちの豊かな発想から、逆に自分自身もたくさんのことを学ぶことができました。これからも子どもたちに理科の楽しさを教え、もっと理科を身近のものに感じてほしいと思います。

○市町スタッフの皆さんからの声(インタビュー、アンケートより)

子どもたちは、部屋に入った瞬間から今日は何をするんだという興味津々の表情でした。最初に「ダイラタンシー現象」を体験した後、実際に自分たちで水分を調整しながら作りあげることに大興奮の様子でした。大学生は子どもとの距離感が近いので、子どもがよく動くし、子どもの目の色がいつもと違っていました。